

(1973年)

サッポロの次のシーズン、開幕第一戦のウァ  
ルティゼールに驚異の「W-CUP」新鋭が出現し  
た。スタートナンバー45番をつけ、大きな体の若  
者、ピエロ・グロスである。

そのレースは、1位エリック・ハーカ  
ー2位、~~アルム~~<sup>エバハルト</sup>・シュマルツェルで、決ま  
つたと思われ、レースビッパが、お正台の用  
意が始まり、ピエリノが飛び込  
んで、ゴールは大混戦から入った。

続く、マドンナ・ティ・カンピジョのスラロ

No.

ムウも、ピエリノは、45番からスタート  
トエニの復勝を、奪ってしまっのがある、  
大型選手の登場として、注目されるが、  
技術系2種目の入は、この二連勝によって  
イタリアのスーパーエースのひとりとなる。

No. ....

トエニ、グロス二人のイースを持ちこいた

<sup>スロウ</sup>リアチームは 1973 年 1974 75 の 3 シーズン

一気にチーム力を上昇させ、ワールドカップ

の主役の座を占めた。

“アバランチアズ” と呼ばれる史上最強

チームの対抗できたのは、オーストリアのイ

ースハンチヒーターセア、そしてインゲマ

ール・ステンマルクの2人だけ「孤高の王者」と

言う環境が生れていった。

No.